

6月2日大雨により警報が発令されましたので臨時休校をさせていただきますが、大丈夫でしたか。いよいよ梅雨本番を迎えます。



天気に関する情報等をしっかりと得て、対策を取っておいください。通学路等で何かありましたら、お知らせいただければと思います。よろしくお願いします。

そして一部の競技は延期されましたが、6月3日・4日に県総体が各地で行われました。男女のバレーボール部は、初戦で1セット目を取りながらも逆転負けを喫し、初戦敗退。女子バドミントン部は個人戦に出場しましたが、シングルス、ダブルスともに食らいついたものの初戦敗退。私は、ウェイトリフティング部長のため4年ぶりに行われた開会式から参加。ウェイトリフティングの試合を観戦しました。2日の大雨の影響で準備が心配されましたが、顧問の先生方のご尽力で何とか準備が整い、3日朝から予定通り試

合を開始することができました。声出し応援も可能となり、大会全般にわたり盛り上がりを見せてくれました。競技のルールも十分理解できていなかったのですが、バーベルを差上げた際に肘が曲がっていたら失敗となったり、試技の間隔が30秒、連続試技の場合は1分30秒となっていたり、競技役員は3人の判定の他にさらに2人のジュリーという上位の審判がおり、厳密な判定を行うなど競技の進行に圧倒されました。また、重さの設定も作戦のため1kg毎の設定がされ、その都度補助役員となる各校の生徒が重さを変える際にプレートの付け替え作業を行うのですが、そのスピード感にも驚きました。当然のことながら設定の重さを理解するだけでなく、おもりの種類も頭に入れておかねばなりません。一つ一つの動作、審判の声のかけ方や判定など学ぶことは多かったです。当たり前のことを当たり前に行っているだけだと思うのですが、こういったことがしっかりできなければ競技運営にかなりの影響を及ぼします。緊張感の続く競技だけに補助役員の重要さを感じました。さらに、競技に関して言うと同じ重さで終了した場合には先にその重さを記録した方が上位になるとか、3回の試技しかないのに、3回目にどのように勝負をかけていくとか非常に細かなところも見ていて楽しかったです。1kg毎に1位から4位までが並ぶという階級もありましたし、見応えがありました。そのような中、本校生徒もベストを尽くし、頑張りました。男子では高砂選手が55kg級5位、馬部選手が81kg級で4位とあと一歩で近畿大会に届かず残念でした。女子では59kg級で当真選手が3位、川崎選手が4位、64kg級で二宮選手が3位、71kg級でアンダソン選手が3位と健闘。女子学校対抗総合でも5位に入りました。また基準記録に達した当真選手と川崎選手が近畿大会への出場となりました。おめでとうございます。

いろいろな競技を見に行くとそれぞれの文化を感じます。ルールもさることながら保護者の熱の入れ方、応援の仕方など各種目それぞれ特徴があります。生徒の皆さんは部活動を自分一人でやっていると思ったら大きな間違いです。自分たちの活動には多くの方々に関係しています。保護者や顧問の先生方はもちろん、会場を提供していただけたところ、競技役員として学校関係者以外でお手伝いいただいているの方々など多くの方々のおかげで大会が成り立っています。感謝の気持ちを持つことで諦めない気持ちも出てきますし、仲間の存在があり、声をかけてもらえるからこそ、最後の踏ん張りがきく場面もあります。皆さんの頑張りが周りの方々に多くの感動を与えます。周りの方々から応援されるような人間であって欲しいと思っています。そのためには感謝の気持ちを持ち、周りへの配慮ができなければなりません。舞子祭では裏方に回ってステージを支えてくれたり、会計関係でお世話をいただいたり、目立たないところで役割を担ってくれる人がいます。また舞子高校を取り巻く環境において交通マナーや通学マナーの向上に努めなければ、地域の皆様からの協力を得ることはできません。今こういった行動を取るべきかをしっかりと考える必要があります。失敗したときには、同じことを繰り返さないためにどうすれば良いかを考えなければなりませんし、うまくいったときは感謝の気持ちを持って『させていただいてありがとう』という気持ちを持つことが大事だと思います。舞子祭の成功に向けて準備をしっかりと進めてください。先生方のご協力、ご指導をよろしくお願いします。